

子育てを考える

「子どもとおもちゃと」

第1回

心の栄養士



初めまして、おもちゃコンサルタントマスターの柳生です。さて、皆さんは子どもの頃に何をして過ごしていましたか？私は友達と家の近くで生えている草を摘んでままごとをしたり、葉っぱを川に浮かべて競走させたりして楽しんでいました。身の回りにあるものすべてが遊びの材料でした。子どもにとって、遊びは生活そのものといえます。きっと皆さんも子どもの頃に熱中していた遊びがいくつか思い出されるのではないのでしょうか。しかし、最近では、外で遊ぶ子どもを見かけるのが減り、ゲームやおもちゃを手にかけて遊ぶ子どもの姿が増えてきているように感じます。おもちゃ屋さんではあふれんばかりにあるおもちゃの前でどういったものを選ぶよいか悩むお母さんも少なくありません。今、あなたのお子さんは『遊び』というものを十分に楽しんでいるのでしょうか？

子どもの成長にとって大切な栄養素は2つあります。1つは身体の成長にとって大切な食事、『体の栄養素』です。こちらは栄養士などのプロがいて、離乳食の頃からどういったものを与えればよいのかという情報も多くあります。そして、もう1つは遊び、『心の栄養素』です。絵本、おもちゃなどがそれにあたると思います。子どもは、日々の遊びの中から多くのことを吸収し、想像力、創造力、観察力、洞察力、考察力、コミュニケーション力など、子どもが成長し、生きていく上で欠かせない力を身につけていきます。それを感じ取り、身に付けていく助けをおもちゃはしてくれます。お父さん、お母さん



が『心の栄養士』になっておもちゃの与え方や使い方にちょっと気を配ってあげてみませんか？難しく考えなくても大丈夫です。食事のように、おもちゃも工夫しながら遊ぶ積み木やままごとなどの『主食のようなおもちゃ』と、キャラクター玩具やボタン1つで動くものなどの『お菓子のようなおもちゃ』の2つに大きく分けることができます。毎日の食事が、ご飯1割、お菓子9割では、食事のバランスが悪いですね。でも、おもちゃで見てみると、どうでしょう？ついついお菓子のようなおもちゃの割合が高くなっていませんか？食事のバランスを考えるのと同じように与えるおもちゃのバランスにもちょっと注意を払ってあげて、子どもの心を豊かに育てる『心の栄養士』になりましょう。

(やぎゅう かなご)
柳生 かな子



- 1995年 兵庫県立龍野高等学校普通科理数コース卒業
- 1999年 香川大学教育学部幼稚園教員養成課程心理学専攻修了
- 高松市立花園保育所勤務
- 2005年 高松市立高松保育所勤務
- 2007年 おもちゃコンサルタントマスター資格修得
- 2010年 高松市立桜町保育所勤務